



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 オプテックス株式会社

コード番号 6914 URL <http://www.optex.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役会長兼代表取締役社長 (氏名) 小林 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理統括本部長 (氏名) 東 晃

TEL 077-579-8000

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	6,483	17.9	969	77.9	998	50.3	622	69.0
25年12月期第1四半期	5,501	8.4	544	128.7	664	76.6	368	105.9

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 400百万円 (△52.1%) 25年12月期第1四半期 837百万円 (22.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	37.63	—
25年12月期第1四半期	22.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	27,540	22,548	76.8
25年12月期	27,532	22,311	76.3

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 21,161百万円 25年12月期 21,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,600	13.2	1,050	5.6	1,100	△12.8	650	△11.3	39.27
通期	26,700	13.2	2,600	23.3	2,700	2.7	1,750	8.0	105.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期1Q	16,984,596 株	25年12月期	16,984,596 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

26年12月期1Q	434,822 株	25年12月期	434,602 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	16,549,862 株	25年12月期1Q	16,551,278 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経済情勢は、国内においては消費税率引き上げの影響などの先行きに対する懸念は残るものの、経済対策及び金融政策の効果が下支えするなかで企業収益及び設備投資は持ち直し傾向にあり、景気は緩やかながらも回復基調で推移しました。

一方、海外におきましては、米国の金融緩和縮小による影響や新興国経済の先行きに対する懸念により、不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、よりグローバルに事業を拡大し世界各地の文化やニーズに応じた事業展開をするとともに、次世代の経営幹部育成と新規事業分野創出をさらに加速させるために「事業と地域のマトリックス制」組織構造に変更するなど、業績の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、64億83百万円と前年同期に比べ17.9%の増収となりました。利益面につきましては、売上高増加による売上総利益の獲得に加え、為替の円安影響などもあり営業利益は9億69百万円（前年同期比77.9%増）、経常利益は9億98百万円（前年同期比50.3%増）、四半期純利益は6億22百万円（前年同期比69.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① センシング事業

当社グループの主力事業であるセンシング事業は、売上高45億41百万円（前年同期比18.2%増）、営業利益6億86百万円（前年同期比76.5%増）となりました。

防犯関連につきましては、売上高32億72百万円（前年同期比16.5%増）となりました。海外におきましては、欧州及びアジア向けの販売が順調に推移し、前年実績を大幅に上回りました。国内におきましては、警備会社向けの販売が堅調に推移し、前年実績を上回りました。

自動ドア関連につきましては、欧州向けの売上が順調に推移し、国内におきましても消費税増税前の駆け込み需要等により前年実績を上回り、売上高11億21百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

② F A事業

F A事業は、海外におきましては、欧州及びアジア向けの販売が順調に推移し、前年実績を大幅に上回りました。国内におきましても、物流、工作機械、自動車関連業界で設備投資需要の持ち直しが見られ、前年実績を大幅に上回りました。この結果、売上高12億24百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益58百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

③ 生産受託事業

生産受託事業は、受託製品が減少したことにより減収となり、売上高は1億45百万円（前年同期比29.0%減）となりましたが、営業利益はグループ製品の生産高増加により13百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は275億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加しました。

流動資産は187億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が4億63百万円増加したものの、配当金や法人税等の支払いにより現金及び預金が5億25百万円減少したことによるものであります。

固定資産は87億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円増加しました。これは主に資金運用に伴う投資有価証券が1億72百万円増加する一方で、償却等に伴い無形固定資産が84百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は49億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億29百万円減少しました。これは主に支払いにより未払法人税等が3億円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は225億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億36百万円増加しました。これは主に為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が2億21百万円減少したものの、利益剰余金が3億74百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、第2四半期連結会計期間以降に見込んでいた営業成果の前倒し要素や投資計画の進捗影響が含まれております。

従いまして、当連結会計年度の業績見通し（第2四半期累計および通期）については、平成26年2月13日に公表いたしました予想から変更しておりません。今後、連結業績予想に関して変更が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,037	7,512
受取手形及び売掛金	5,118	5,582
有価証券	1,264	1,275
商品及び製品	2,224	2,116
仕掛品	69	72
原材料及び貯蔵品	1,102	1,199
繰延税金資産	474	500
その他	551	506
貸倒引当金	△25	△22
流動資産合計	18,817	18,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,083	1,067
機械装置及び運搬具（純額）	396	390
工具、器具及び備品（純額）	294	305
土地	1,203	1,203
建設仮勘定	36	37
有形固定資産合計	3,014	3,004
無形固定資産		
のれん	808	738
その他	519	505
無形固定資産合計	1,328	1,243
投資その他の資産		
投資有価証券	3,416	3,588
繰延税金資産	598	601
その他	395	397
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	4,372	4,549
固定資産合計	8,714	8,798
資産合計	27,532	27,540

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,188	1,312
短期借入金	490	474
未払金	575	433
未払法人税等	695	394
繰延税金負債	8	8
賞与引当金	105	232
役員賞与引当金	43	7
その他	548	540
流動負債合計	3,655	3,405
固定負債		
繰延税金負債	129	124
再評価に係る繰延税金負債	26	26
退職給付引当金	901	905
役員退職慰労引当金	492	514
その他	14	14
固定負債合計	1,565	1,585
負債合計	5,220	4,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	3,653	3,653
利益剰余金	14,308	14,682
自己株式	△540	△540
株主資本合計	20,219	20,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175	151
土地再評価差額金	△9	△9
為替換算調整勘定	623	425
その他の包括利益累計額合計	789	568
新株予約権	18	18
少数株主持分	1,284	1,368
純資産合計	22,311	22,548
負債純資産合計	27,532	27,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	5,501	6,483
売上原価	2,603	2,955
売上総利益	2,897	3,528
販売費及び一般管理費	2,353	2,558
営業利益	544	969
営業外収益		
受取利息	16	23
受取配当金	11	17
受取賃貸料	5	5
為替差益	82	—
持分法による投資利益	0	7
保険解約返戻金	—	3
投資事業組合運用益	2	15
その他	8	5
営業外収益合計	125	77
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	—	41
賃貸費用	4	4
その他	0	0
営業外費用合計	6	48
経常利益	664	998
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	665	998
法人税、住民税及び事業税	364	399
法人税等調整額	△80	△29
法人税等合計	284	370
少数株主損益調整前四半期純利益	381	627
少数株主利益	12	5
四半期純利益	368	622

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	381	627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	△25
為替換算調整勘定	355	△201
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	455	△227
四半期包括利益	837	400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	810	401
少数株主に係る四半期包括利益	27	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

① 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	センシング 事業	F A 事業	生産受託 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,843	1,011	205	5,060	440	5,501	—	5,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	674	682	11	693	△693	—
計	3,851	1,011	879	5,742	451	6,194	△693	5,501
セグメント利益又は損 失(△)	388	56	△10	434	102	537	7	544

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	センシング 事業	F A 事業	生産受託 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,541	1,224	145	5,911	572	6,483	—	6,483
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	796	804	9	814	△814	—
計	4,549	1,224	942	6,716	581	7,297	△814	6,483
セグメント利益	686	58	13	757	227	985	△15	969

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△15百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。